

1. 調査目的

希望と夢と安心して住み続けることのできる南相馬市の将来像の創造につながる南相馬市復興計画を策定することを目的として、その主体となる市民の現状と要望を把握するための市民意向調査を実施した。

2. 調査票の配布条件

南相馬市で津波被害を受けている全世帯および本市無作為抽出世帯の約5,000世帯を対象として、調査票を郵送配布した。

□津波による家屋被害（全壊・大規模半壊・半壊・一部損壊）を受けた全世帯

計：1,412世帯（小高435世帯、鹿島464世帯、原町513世帯）

□市民の無作為抽出世帯

計：3,600世帯^注（小高570世帯、鹿島525世帯、原町2,505世帯）

注）（調査時点、津波被害を除く世帯に対し、無作為抽出した結果）

市内在住1,467世帯、市外への避難者2,133世帯

□配布数

合計：5,012世帯

3. 調査結果の概要

（1）「震災を踏まえたこれからの都市づくり」、「今後の防災対策」、「原子力の安全対策」について意見の多いものを示す。

■震災を踏まえたこれからの都市づくりへの希望

	望まれている将来像
南相馬市の将来像	<ul style="list-style-type: none"> 地震や水害など災害に強い安全なまち 産業の活性化による経済力のあるまち 子供や高齢者、障害者にやさしい福祉環境の充実したまち

■南相馬市の復興に向けて重要だと思う取り組み

	望まれている取り組み
生活再建	<ul style="list-style-type: none"> 住宅や宅地への再建支援 雇用の確保
経済復興	<ul style="list-style-type: none"> 農業の復興 新たな産業の誘致 商店街・商業の活性化
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> 堤防・防潮堤による大津波対策 危険箇所の土地利用の見直し 迅速に避難できる避難場所や避難路の整備 <p>注）「堤防・防潮堤による大津波対策」は、津波被害世帯35%に対し、非津波被害世帯21%</p>

■今後の防災対策

	望まれている取り組み
防災対策の強化	<ul style="list-style-type: none"> 情報連絡体制の充実 行政の危機対応能力の強化

■原子力の安全対策

	現段階で望まれている取り組み
放射能の安全対策	<ul style="list-style-type: none"> 放射線に関する情報提供の充実 モニタリングの充実 放射線に関する医療機関の整備

（2）「今後の住まい」、「今後の農地」について（津波被害の有無による回答特性）

■「今後の住まい」について

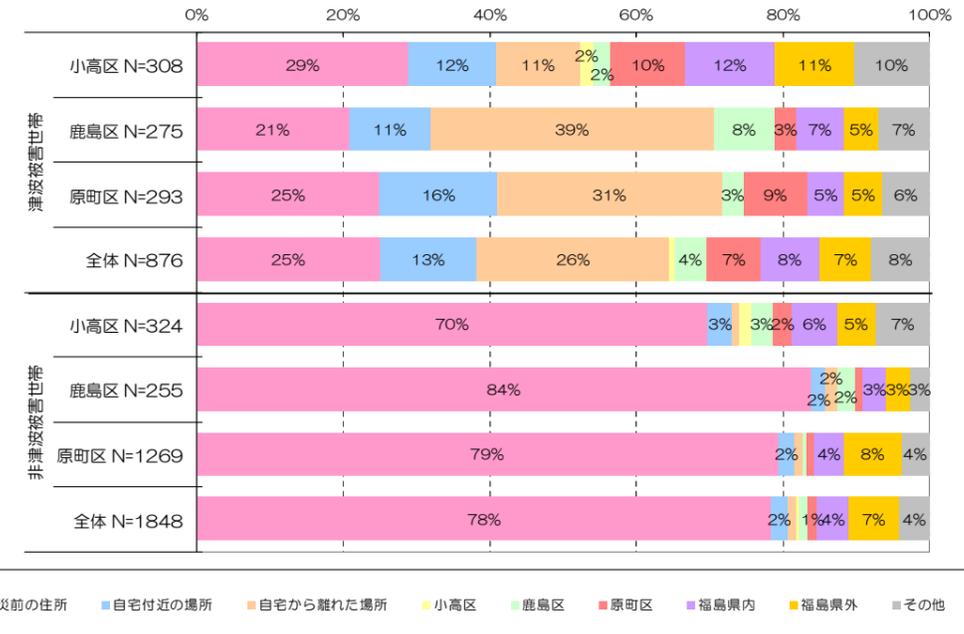
□津波被害世帯について

震災前の住所に住みたい希望は25%

ただし、津波被害世帯の39%が自宅以外で「これまでと同じ区内に住みたい（自宅付近、自宅から離れた場所）」と希望

□非津波世帯について

震災前の住所に住みたい希望は78%、「市外」や「県外」が全体の11%



■「今後の農地」について

□津波被害世帯の今後の農地への使い方の希望は、「農地としては使用しないため手放したい」が44%、この傾向は、3区の中で小高区及び鹿島区で高い

